

自立と共生！

たくましい日本！

No. 180号

民主党 中川正春の

永田町かわら版

2003年1月8日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128

FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>

E-mail g03063@shugiin.go.jp

○今年、選挙の年

明けまして、おめでとうございます。

今年、統一地方選挙や、衆議院の解散総選挙の可能性など考えると、政治の総決算になりそうです。足元の鈴鹿市では、**市議会議員**の新人候補者と、退職議員で、定数の半分近くが新旧入れ替わることになります。

四日市や亀山でも、新人候補者が元気よく名乗りをあげています。

鈴鹿は、**市長選挙**も同時に行われます。現在、3、4人の候補者の名が上がっています。私達が最終的には誰を応援するか、広く市民の意見をききながら、集約をする努力をしています。市町村合併が中途半端な形で終わることなく、亀山や関も含め広い枠組みで完成させる事。鈴鹿の経済基盤を構築できる人。そして、市民感覚で、改革に取り組める人。こんなことを目標に市政を運営できる人材を応援しようということです。

県議会議員も、名張や四日市、久居、伊勢など、私達の新人発掘の努力が実っていますが、自民党もここに来て、松阪や安芸、菰野、志摩などで、新しい人材を投入してきました。デッドヒートです。新政みえの会派全員が当選確実になるまで、私達も責任をもって応援することだと思っています。

知事選も同時に意見集約が続いています。県議会議員の代表や、連合、その他NPO団体の人々と広く連携ができればいいと思っています。北川改革を県庁の中から外へ展開して、県民の生活革命まで持っていけるような気概のある候補者を応援していきます。以前に書いた村尾さん[8年前の県総務部長、北川改革を最前線で支えた]も、去年の暮れから三重県に入って小集会を重ね、頑張っています。

これだけのことが同時進行している状況を、三重県で精一杯まとめてくれているのが、民主党三重県連

○北朝鮮国境地帯を行く

マイナス25度と言う気象条件は、すさまじいものです。外に出て最初の一呼吸に刺激が走り、10分ほどで頬がピリピリ、耳がちぎれそうに痛くなります。

極寒の中、中国の北朝鮮との国境付近、朝鮮族延辺自治州、延吉市と、川をまたいだ国境の町、トモンに行ってきました。北朝鮮から脱出してくる難民の実態調査が目的です。あわせて、中国当局に対し、逮捕者の北朝鮮への強制送還をやめること。そして、私達も協力するから、この地域に難民キャンプを作ろうと呼びかけることが目的でした。

今回の訪問で、中国政府当局者には、すっかり嫌われたようです。外務省を通じて、中国当局へ出した面会希望リストは、最初は、全て受け入れるとの返事が来ていました。ところが5日間のビザ申請とともに、在日中国大使館に訪問要旨を説明したのが運のつき、出発の日が近づいてきても、ビザが下りてきません。業を煮やして、私が直接公使と掛け合うと、「本国から、北朝鮮問題は微妙なところだから、中国当局としては、今回の中川の訪中に関しては身の安全も含めて、一切お世話できないと言ってきた。それでも、あなたは、行きたいか。」と確かめてきました。「当然、行きますよ。」と答えると、訪日日数を削って、3日間のビザを下ろしてきました。同時に、出発の前日、外務省から、中国当局者でこれまでアポが取れていた者が全てキャンセルされてきたと連絡がありました。外務省も、領事館から人は出せないと言います。相手国の心象を害してまでも、私に付き合えないということです。

意を決して、北京で通訳を確保した上で一人、延吉に乗り込んだところ、なんと、私の名前を書いたプラカードをもって、延吉の外事弁公使所長というのが、空港で待ち受けていました。前日に北京から

の金森幹事長や、石井三好副代表です。一日に何回となくラヴコールをもらいます。「中川が言えば、それで皆が納得してくれる。それだけの力が、あんたにも早くつかん事には、私らが今のように苦勞する。」二人とも、こんなことを言いたくてしょうがない雰囲気ですが、今は胸にしまって、一言の愚痴もなくがんばってくださっています。感謝、感謝。

連絡がはいて、中川を丁重にもてなすようにと、指示が来たからと言います。

〔次号に続く〕

中川正春